地域のつながり　シリーズ 第26回

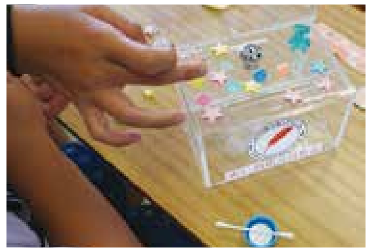
子どもたち × 地域の力で、手づくり募金箱を通じた“たすけあいの輪”が広がっています。

福知山市共同募金委員会 × 社協

福知山市の赤い羽根共同募金箱づくりは、令和元年度にスタート。三和グループデイホームを利用されている高齢者の皆さんがちぎられた色画用紙を、菟原児童館に来ている子どもたちが箱に飾りつけ完成させました。募金箱は、三和地域のイベント募金で活躍しました。

令和元年度の取組み

令和２年度からは、社協の福祉教育「福祉ものづくり体験講座」の一環として実施。子どもたちが、共同募金のしくみや使いみちの話を聞いた後、アクリル製の募金箱に、粘土やシール、テープ、ブロック等を自由に選んで飾りつけ、手書きのメッセージカードも添えます。令和４年度は新たに26個が完成。累計52個の個性豊かな募金箱は、お店や施設等のご協力により、福知山市内の各地域に設置されています。お出かけの際などに、ぜひご覧になってください。



令和４年　7/29　前田児童館

8/20　福知山市母子寡婦福祉会学習塾

8/30　上六人部放課後児童クラブ

ご協力ありがとうございます。 赤い羽根共同募金 募金箱設置協力店・施設一覧

令和４年10月１日現在（敬称略・五十音順）

店舗 味工房、AVIX 福知山店、イオン福知山店、京都銀行福知山支店、京都丹の国農業協同組合福知山支店、京都農業協同組合福知山支店、京都北都信用金庫福知山中央支店、業務スーパー 駅南店・前田店・堀店、里の駅みたけ、産直野菜ふくちマルシェ、ジャパン福知山東店、炭火やきとり えばら屋、駄菓子屋のぐち、土手酒店、中兵庫信用金庫福知山支店、スーパーマーケットニシヤマ荒河店、HASIHAUS橋本工業㈱、ビデオインアメリカ福知山店、福知山温泉、福知山郵便局、PLANT-３福知山店、プロバンス福知山店、北陵うまいもん市「雲原店」、ホテルロイヤルヒル福知山、本庄写真館、まぃまぃ堂、丸源精肉店、焼肉ぷち、柳町、山城屋茶舗、ヨシヤカメラ

施設 岩戸ホーム、えるむ、ケアハウス ニコニコハウス、三愛荘、サンヒルズ紫豊館、しあわせネット・勇気、豊の郷、にれの木園、晴風、福知山観光協会、福知山市児童科学館、福知山市社協、福知山市スポーツ協会、福知山市武道館、福知山市文化協会、福知山市民病院、福知山市役所 会計室、福知山市立図書館中央館、福知山市三段池総合体育館、三段池RAVIHOUSE植物園、三段池RAVIHOUSE動物園、前田教育集会所

学校 福知山公立大学

三 和 町

店舗 サロン美和兆、三和荘、ローソン 三和店

施設 福知山市社協 三和支所、福知山市三和町高齢者生活福祉センター、福知山市役所三和支所、みわの里

夜久野町

店舗 夜久野高原市

施設 グリーンビラ夜久野、福知山市社協 夜久野支所、福知山市役所 夜久野支所

大 江 町

店舗 garden cafe N kitchen、有路郵便局、食堂大江山、㈲元伊勢製菓、喫茶・食事の店ほほほのほ、新治製菓舗

施設 五十鈴荘、大江観光㈱「丹鉄大江駅売店」、日本の鬼の交流博物館、福知山市社協 大江支所、福知山市役所 大江支所

■ 記事に関すること、その他お問い合わせは…

社会福祉法人 **福知山市社会福祉協議会**
〒620-0035　福知山市字内記10番地の18
（福知山市総合福祉会館内）

地域福祉課、権利擁護センター	介護支援課
TEL.0773-25-3211 FAX.0773-24-5282	TEL.0773-23-1333 FAX.0773-23-8555

三和支所	三和グループデイホーム	夜久野支所	大江支所
TEL.0773-58-3713 FAX.0773-58-3732	TEL.0773-59-2025 FAX.0773-59-2026	TEL.0773-38-1200 FAX.0773-38-1230	TEL.0773-56-0224 FAX.0773-56-1654

広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金を活用し、制作しています。

福知山市社協 広報誌

しあわせ

福知山市社協
No.205
令和４年（2022）10月20日

皆さまに支えられて 福知山社協は創立70周年

※写真は過去の広報誌「しあわせ」で掲載したものです。

70年 そして未来へ！

福知山市社会福祉協議会（社協）は今年創立70周年を迎えました。
皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。
今後も、皆さまの想いを大切に、皆さまとともに、ささえあい、たすけあいのまちづくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

主な内容

2,3ページ……【特集】創立70周年に寄せて、社協のあゆみ
4,5ページ……【特集】地区福祉推進協議会
6,7ページ……社協のとりくみ、権利擁護（けんりようご）から考える地域の暮らし
8,9ページ……地域のとりくみ、地域クローズアップ（大江町）
10ページ………おしらせ
11ページ………共同募金運動がはじまりました
12ページ………地域のつながり

社協 ホームページ　福知山市社会福祉協議会　検索

ブログも見てね!

福知山市社協70年のあゆみ

福知山市社会福祉協議会は、1952（昭和27）年に創立、市町村合併や社会福祉法人の認可などを経て、市民の皆さまとともに福祉のまちの実現を目指して歩み続けて、本年70周年を迎えることができました。

福知山市社協
イメージキャラクター
きっくん

市民公募により第3号広報誌から現在の「しあわせ」に改称しました。

『社協だより』の創刊

昭和27年（1952）
福知山市社協創立

昭和37年（1962）
心配ごと相談所開設

今のふれあい福祉相談につながっています。

昭和44年（1969）
- 社会福祉法人として認可
- 老人家庭奉仕員派遣事業受託
- 社協だより創刊
- 善意銀行開設（寄付金や物品の受入開始）

今の訪問介護事業の基礎になりました。

昭和46年（1971）
身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託

昭和55年（1980）
- 移動入浴車派遣事業開始
- ボランティアセンター設置

今の訪問入浴事業の基礎になりました。

平成元年（1989）
地区福祉推進協議会（※詳細はＰ４をご覧ください）の組織化開始

平成３年（1991）
児童・生徒の社会福祉体験学習事業開始

平成９年（1997）
ふれあいいきいきサロン活動開始

現在、市内で155のサロンが活動中です。

平成11年（1999）
- 居宅介護支援事業開始
- 権利擁護事業開始

平成12年（2000）
- 介護保険事業開始
- 三和グループデイホーム事業開始
- 共同募金事務局が市より移管される

これ以降、
- 平成25年台風18号災害
- 平成26年８月豪雨災害・台風11号災害
- 平成30年７月豪雨災害

等に際し災害ボランティアセンターを設置し、復旧支援ボランティアの派遣を行っています。

平成16年（2004）
災害ボランティアセンター開設（台風23号災害）

平成18年（2006）
- 一市三町社協合併
- 災害ボランティアネットワーク連絡会発足
- 障害者自立支援制度・介護予防給付制度開始
- 福祉有償運送事業開始（三和地域）

平成20年（2008）
ファミリーサポート事業受託（令和２年３月まで）

平成24年（2012）
安心生活見守り事業開始（令和４年７月まで）

平成25年（2013）
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業開始（平成31年３月まで）
- 成年後見センター事業開始（平成31年３月まで）

平成27年（2015）
権利擁護センター設置

権利擁護センターでは認知症や障害があっても、地域で安心して暮らし続けられることをめざし支援を行い、老いじたく講座等も開催しています。

平成28年（2016）
- ささえあいパートナー事業開始
- フードバンク事業（提供いただいた食品を通じた困窮世帯や地域活動支援）開始

ささえあいパートナー事業は、地域のちょっとした困りごとのある方を住民同士で支え合う有償のたすけ合いです。

平成29年（2017）
安心生活見守りキーホルダー事業開始

令和２年（2020）
- 第１回地域福祉フォーラム開催
- 生活福祉資金（新型コロナ特例）貸付開始
- 社協ミニだより「ほのぼの」発刊

令和４年（2022）
活動事例集「つながり」発刊

住民の方々が主体となって取り組まれているさまざまな地域福祉活動やその想いを紹介させていただいています。

社協創立70周年に寄せて

社会福祉法人
福知山市社会福祉協議会
会長　夜　久　豊　基

　昭和27年１月に福知山市社会福祉協議会が創立されて、今年で70周年を迎えることができました。これもひとえに、長年にわたり福知山市社会福祉協議会を様々な面から支えていただいた、地域の皆様、多くの関係者・団体の皆様、そして福知山市行政のご理解とご協力の賜物と心よりの感謝を申し上げます。

　最近の10年間を振り返りますと、急激な少子高齢化の進行による人口構造や家族形態の変化、地域のつながりの希薄化など地域基盤に大きな変化が生じています。一方では日本各地に被害をもたらした災害、新型コロナウイルスの感染拡大に端を発する社会的・経済的打撃など、多発する災害への備えや支援を必要とする住民の抱える多様で複合的な生活課題への的確な対応が求められています。

　また、社会福祉法の一連の改正により、あらためて地域福祉の重要性が再認識されています。すべての人々が「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超えて、一人ひとりが生きがいや担い手としての役割を持ちながら地域住民相互の絆を再構築することで、福祉コミュニティや地域社会を共に創る「地域共生社会の実現」に向けた取り組みが求められています。

　その実現のために、これからも私たち社会福祉協議会職員が地域に出向くことを大切にし、地域の皆様に寄り添いながら住民主体の地域福祉活動を支援できるように努めてまいります。

　今日までに賜りました皆様のご厚意に改めて感謝申し上げますとともに、今後も福知山市社会福祉協議会へ、一層のご支援ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

福知山市社会福祉協議会創立70周年に寄せて

福知山市長　大　橋　一　夫

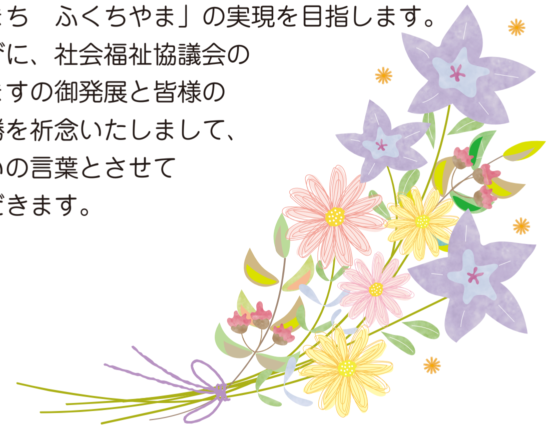
　福知山市社会福祉協議会が、今年創立70周年を迎えられましたことに心よりお祝いを申し上げます。70年の長きにわたって地域福祉に御尽力されてこられたことに敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。また、皆様には日頃から本市福祉行政の推進に御理解と御協力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

　現在、少子高齢化と人口減少の進行、長引くコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻等、社会情勢は不安定さを増しています。

　誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、今こそ市民のお一人おひとりが地域福祉の推進を共通の課題として受け止め、多様な主体が手を取り合い、地域で皆が支え合う仕組みを作っていかなければなりません。そのためには、社会福祉協議会の役割は必要不可欠です。

　本市といたしましても、引き続き社会福祉協議会と協力しながら地域福祉の推進に一層努め、「共に幸せを生きるまち　ふくちやま」の実現を目指します。

　結びに、社会福祉協議会のますますの御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



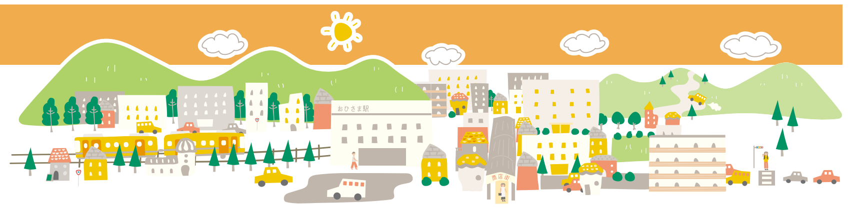
いつまでも、住み慣れた地域で一緒に暮らし続けるために…地区福祉推進協議会のご紹介

地区福祉推進協議会って…？

社協とつながりの深い地区福祉推進協議会（以下、「福推協」）は、概ね小学校区を単位とした住民主体の組織です。地区内の各種住民組織（自治会・民生児童委員・老人クラブ・婦人会など）が、力を合わせて、地域の福祉課題解決に向けて活動を進めておられます。

誰もが住みよい地域づくりを目的に、各地区の福推協は大変大きな役割を果たしています。市内には20の福推協があり、今回はその中から４地区の活動を紹介させていただきます。

地域づくりは、そこに暮らす人たちにしかできない。そのために、私たち社協職員も精一杯応援します!!



下豊富地区福祉推進協議会
～心もち訪問～

人と出会い人と話すことで自然と笑顔が♪

心もち訪問準備風景

下豊富地区福祉推進協議会では、ひとり暮らしの不安をすこしでも解消し、地域の人とふれあい地域の絆を強めようと、平成14年より「心もち訪問」に取り組まれ、70歳以上のひとり暮らし高齢者宅に、毎年７月には冷菓、11月と２月にはお弁当を届けられています。今年７月に実施された「心もち訪問」では、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら157軒に夏の冷菓（くずもち・水ようかん）を携え安否確認などをしながら訪問されました。

夏の冷菓をお届けされました♪

会員の皆さんは、訪問時「元気にしとってか？」「暑いのでクーラーをつけて過ごしてくださいね」と声かけをしながら地区内を巡り、対象者の方々に、冷菓を手渡されました。受け取られた方は、「いつもありがとう」「楽しみにしとったんや♪」などと感想を話されていました。平成14年に始まり、以前は、10月に実施されていた「心もち訪問」ですが、近年、夏の記録的な暑さもあり、高齢者の熱中症が増える中で「夏にも見守りした方が良いのではないか。」と話し合われ、時期を変更されるなど、時代の変化にあわせて工夫をされながら20年間活動を継続されてきました。

地域の方々の訪問や日頃からの声かけ、交流などが暮らしの安心につながっており「地域の繋がり」を感じられる素敵な活動です。

中六人部地区福祉推進協議会
～福祉ふれあいひろば～

地域の絆を結び続ける!!

季節行事で賑やかに♪

中六人部地区福祉推進協議会は、地域の福祉の輪の広がりを目指して、平成９年に発足し、福祉の啓発のための福祉だよりの発行、高齢者福祉に関するアンケート調査の実施など、様々な取組みを進められています。

数多くの取組みの中で、代表的なものとして、「福祉ふれあいひろば」があります。年８回程度、地域の皆さんを対象に、中六人部ふれあいセンターで、交流の場づくりをされています。毎回40～50名程度の参加者が、様々な催しを楽しまれ、地域住民の憩いの場となっています。

屋外活動もとり入れて！

コロナ禍以降、開催を中止することも多くなりましたが、屋外での活動を取り入れたりするなど、感染状況などを見ながら、臨機応変に開催され、地域の絆を切らさずに活動を続けておられます。

今年10月には、90回目の開催を控えておられます。歴史ある地域の活動として、これからも地域の絆を積み重ねていかれるよう、社協としても応援していきたいと思います！

雀部地区福祉推進協議会
～フラワーガーデン見守りプロジェクト～

つながりフラワーを育てよう♪

お花の苗をお届けしました♪

雀部地区福祉推進協議会では、コロナ禍の影響で、これまでのように住民が集うイベントができなくなったため、令和３年度から「フラワーガーデン見守りプロジェクト」に取り組まれています。

このプロジェクトでは、地区内の希望者に花苗を配布し、人目につく玄関先で育ててもらうことで、住民同士の声かけや繋がりが広がることを目指されています。今年度は、地域の141軒の皆さんに配布をされました。「散歩中の方が、綺麗なお花だね♪と声をかけてくれるので、嬉しいです。」「お花の育て方の話でいつも盛り上がってます♪」など、地域の方からの喜びの声が寄せられているとのこと。

玄関前で元気に咲いています♪

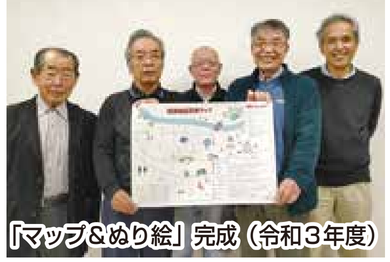
福推協の渡部会長は、「昨年度に比べ、参加者もたくさん増えてきて、コロナ禍でも交流の輪が広がっているように感じます。」と話されていました。“コロナ禍でも繋がり続けられる方法はきっとある”、その想いのもとに、役員の皆さんで知恵を出し合いながら、活動を続けておられます。コロナ禍の中でも住民同士の交流を絶やさずに活動できる手法として、ぜひ他の地域でも参考にしてみてください！

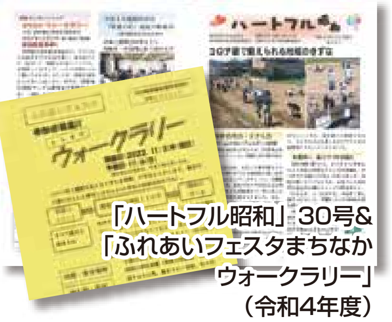
昭和地区福祉推進協議会
～知る&伝える×楽しむ=地域でつながろう!～

「メッセージとすごろく」（令和２年度）

昭和地区福祉推進協議会では、コロナ禍でも行いやすい手法を生み出し、新たな地域交流のきっかけづくりに取り組まれています。

令和２年度は、不安が増すなか前向きな気持ちにつなげたいと昭和学区青少年問題協議会とともに「アタック！コロナ・ファイトメッセージ」を募り、寄せられたメッセージをステッカーにして地区の皆さんで共有されました。また、親子等がゲームを楽しむ「ふれあいフェスタ」は中止となったものの、フェスタの内容を取り入れ、役員さんのメッセージも添えた「ふれあいフェスタ体験すごろく」を作り配布。令和３年度は、昭和地区の地名や歴史を盛り込んだ「昭和地区探検マップ＆昭和小学校校章ぬりえ」を作成・配布されました。令和４年度は、探検マップの拠点を巡る「ふれあいフェスタまちなかウォークラリー」の実施に向けて、現在準備中。今年度30号を迎えた地区全戸配布の情報誌「ハートフル昭和」では住民の皆さんによるサロンやイベント、訪問活動、講演会等、さまざまな地域の活動を紹介されています。


「マップ&ぬり絵」完成（令和３年度）



「ハートフル昭和」30号&「ふれあいフェスタまちなかウォークラリー」（令和４年度）

福推協の横江会長は「今年のふれあいフェスタは小学生から高齢者まで私たちが住むまちなかを楽しむ！ふれあいを楽しむ！そんなウォークラリーに出来たら！」と言われています。

住民の皆さんの想いや活動、地域の魅力を伝え合い、楽しみながらつながっていく取組みを、応援しています！

社協のとりくみ

社協の活動の一部をご紹介します。

第４次地域福祉活動計画策定に向けて…

地域福祉ワークショップが始まりました！

地域福祉活動計画って…？

第３次活動計画

「地域福祉活動計画」とは、社協が地域住民や関係機関などの皆さま方と一緒に、地域福祉活動に関する進めていくべき方向性やそれらの具体的な取組みを示すものです。現在、社協では、第３次地域福祉活動計画が平成30年度から令和４年度までの５か年計画として進行中です。

今年度、第３次計画の最終年度となることから、これまでの計画を振り返りながら、地域住民や関係機関などの皆さま方と力を合わせて、令和５年度から５年間の第４次計画の策定に向けて動き出しています！

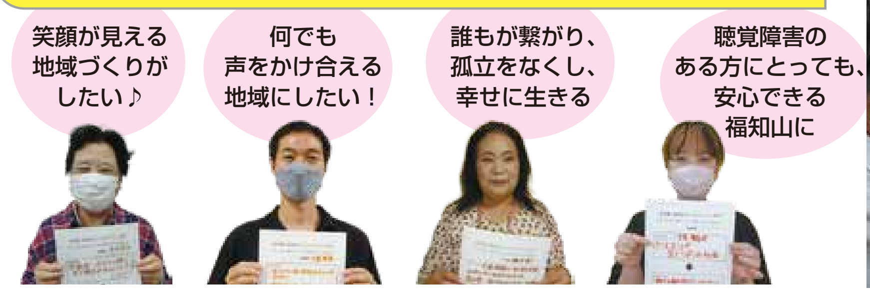
地域福祉ワークショップについて

まずはみんなで自己紹介

今回、第４次計画の策定に向けては、各地域で地域福祉活動を実践されている方々をメンバーとした、「地域福祉活動者ワーキングチーム」を立ち上げました。このメンバーが軸となりながら、地域福祉ワークショップ（計３回）を通して、地域福祉に対する想いや願いをお聞きしながら、住民も、行政も、専門職も、社協も一緒になって、力を合わせて計画づくりを進めていきます。

ワークショップのファシリテーターとして、福知山公立大学 地域経営学部 杉岡秀紀先生と谷口知弘先生にご協力をいただいています。第１回ワークショップでは、皆さんのこれからの地域福祉に対する想いを共有する時間となりました。引き続き、皆さんとの対話を通じて、計画の素案を作成していきます！

ワークショップでは、こんな想いが出てきました！



グループに分かれて、活発な対話を！

三和グループデイホーム「敬老会」 9/13(火) 16(金)

コロナ禍のため、今年度も内容を縮小しての開催となりました。

皆さんと一緒に歌いながらリズム体操やビンゴゲームで盛り上がり、楽しいひと時をすごしていただきました。

福知山市ボランティアセンター「整理と収納の講座」 9/29(木)

昨年度に引き続き、生活の身近な内容を楽しく学んでいただきながら、その学びを誰かに「伝える・広める」ことで、ボランティアのきっかけづくりになればと、講座を開講しています。

第１講座では「整理について」をテーマに、アドバイザーより整理と収納によって生まれる効果やモノを減らすためのポイントが説明されました。受講された皆さんからは「教わった内容で片付けを実践していきたい」などの意欲的な感想をいただきました。

【今後のテーマ】 第２講座「収納について」
第３講座「キッチンの片付けについて」

権利擁護（けんりようご）から考える地域の暮らし 第４話

「生活支援員」にインタビューしてみました！

生活支援員７年目
寺川慎治さん（67歳）

福祉サービス利用援助事業では、認知症や障害のある方などで、手続きや金銭管理がひとりでは不安な方に対し、支援計画に基づき、ご本人の福祉サービスの利用手続きや預貯金の出し入れなど生活に関わる支援をしています。ご本人のもとへ定期的に訪問し、お手伝いされているのが「生活支援員」の方々です。実際に、「生活支援員」として活躍されている方にお話を聞いてみました！

Q 生活支援員になられたきっかけは何でしたか？

社協の職員さんからのお誘いでした。元々、長く銀行員として勤めていたことや、手話通訳など障害のある方への支援にも関わっていたこともあり、障害のある方などへの金銭面の支援などという内容をお聞きして、私にできる範囲であればと思い、受けさせていただきました。丁度、仕事を辞めたタイミングだったということもありましたね。

Q 現在、実際にどのようなことをされているのですか？

月２回程度、私が担当している利用者さんのお宅へ訪問をし、金銭の出し入れや郵送物の確認などをしています。また、暑い時期にクーラーをつけず過ごしておられることもあるので、声かけをしたり、日常の暮らしに関する見守りのようなこともしています。

Q ご利用者と接する中で、心掛けていることはありますか？

支援だけに限らず、日常のお話をすることです。できるだけ話しやすい雰囲気や適度な関係性をつくりながら、関わることが大事かと思います。多くはない生活費の中で、金銭管理をしていますが、一番はご本人が楽しく暮らせるようにお手伝いできることが大切かなと思っています。

Q 生活支援員の活動を通じて、感じていることはありますか？

月数回の活動でできることは、ほんの少しのことかもしれません。それでも、支援を必要としている人にとって、ケアマネなどの専門職だけでなく、関わる人が増えるということは、大切なことだと感じています。これからもできることを、できる範囲でお手伝いさせていただきながら、誰かの日常を支えていけたらと思っています。

ご本人が、安心して地域での暮らしを続けていくための身近な協力者である「生活支援員」。
こうした方々の活動により、ご利用者の日常の暮らしが支えられているんですね。

善意の寄付 ありがとうございました

令和４年６月21日～９月20日（敬称略・受付順）

お名前・ご住所のみご紹介させていただきます

寄　付　金

物　品　古切手・テレホンカード・はがき・タオル・ベルマーク・他

こちらの内容は、個人情報保護の為、
ホームページへの掲載は自粛させていただきます。

地域のとりくみ

地域のさまざまな福祉活動の一部をご紹介します。

7/6㈬　天座にこにこサロン

七夕が恒例行事に！短冊に込めた願いごとが叶いますように。

7/14㈭　南岡ふれあいサロン

社協＆地域包括の“シニア世代のお役立ち情報”出前講座

7/24㈰　成仁地区福祉推進協議会

“ボランティア交流会”ボランティア同士が交流を深められました。

7/6㈬　しあわせ会（猪野々）

手作りの素敵な七夕飾りができました。短冊には「コロナ収束」を願う言葉も。

7/15㈮　水内いちご会

認知症予防体操で健康づくり!!
福知山音頭も楽しまれました。

7/26㈫　土師新町東ふれあいサロンパーク

防災力を高めよう！段ボールベッドづくりの体験

7/13㈬　豊富地区民生児童委員協議会

“ひとり暮らし高齢者お楽しみ会”
民生児童委員の皆さんによる赤白旗上げゲームも楽しまれました。

7/15㈮　上川合いきいきサロン

訪問蚕交流会のお礼を三和学園へお届け♪

7月中旬～下旬　六人部地区民生児童委員協議会

ひとり暮らし高齢者への見守り事業“笑顔いっぱいお届けパック”で、民生児童委員の想いを込めた手作りプレゼントをお届け。

7/14㈭　下川口地区福祉推進協議会

“つどいの場学習会”
サロン・老人会などの集まりで活用できるプログラムを皆さんで体験

7/15㈮　たんぽぽの会（山中）

社協出前講座“笑顔で暮らせる片付け術”。サロン会員に加え、ひとり暮らしの男性も参加

8/3㈬　三和地域福祉推進協議会

自治会長･民生児童委員合同研修会
避難行動要支援者訪問活動の事前勉強会

8/25㈭　北親会ふれあいいきいきサロン

上六人部放課後児童クラブの皆さんと一緒に“ペットボトルけん玉づくり”で交流されました。

9/10㈯　雲原地区福祉推進協議会　水車ひろばサロン出前講座

“なまずの学校&災害時役立ちグッズ”（社協の福祉出前講座）日頃からの災害への備えを地域で考える！

9/22㈭　いきいきサロン　あじさいの会（桑村）

社協出前講座で防災ゲーム「なまずの学校」に挑戦!災害時について改めて考える時間を持たれました。

7/17㈰～8/27㈯　福知山市母子寡婦福祉会

『学習塾』で勉強に加え、レクリエーションやパステルアート等を楽しまれました。

8/30㈫　福知山地区更生保護女性会

万願寺味噌づくりで会員同士や地域との交流を深められました。

9/8㈭　平野町　介護予防体操サークル　すまいる

卓球バレーで交流
試合は大白熱！

ちいきクローズアップ　大江特集！

夏間グリーンヒルサロン「わかば会」ゴミ拾い　6/26㈰

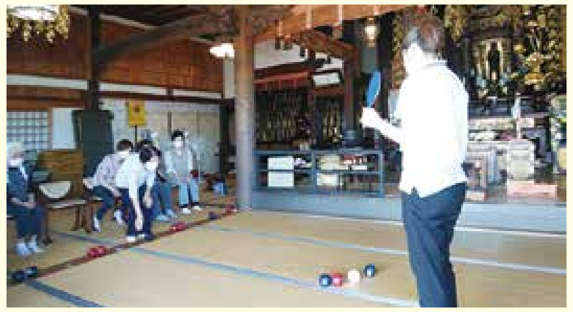
お世話になっている地区の皆さんに“日頃の感謝の気持ちとして何かできないか”と相談され、コロナ禍でもできることとして地区内のゴミ拾いをされました。

緑のカーテン　ミニプロジェクト　5月～

福知山高校三和分校が作られたゴーヤの苗を社協大江支所前で育てました。ボランティアと市老人クラブ連合会、地域の皆さんに、苗植え、肥料、水やり等力を貸していただき、立派な緑のカーテンに成長。ゴーヤの実の収穫もできました。

お寺でサロン　9/26㈪

お寺で毎月サロンが開かれています。この日は本堂にてボッチャを楽しまれました。



おしらせ

「災害ボランティア講座」 要申込

～災害支援に関心のある方へ～

災害時に、ボランティアと被災地を繋ぐ役割を担う「災害ボランティアセンター」の活動について、学んでみませんか？

【日時】令和４年10月29日(土) 10:00～12:00
【会場】福知山市総合福祉会館（福知山市字内記10－18）
【対象】災害ボランティア活動に関心のある方
【内容】災害ボランティアセンターの運営体験など

【お問い合わせ】本所
TEL 0773-25-3211　FAX 0773-24-5282

三和身体障害者交流会 みわの集い 要申込

～三和地域の障害のある方へ～

今年も三和地域で「みわの集い」を実施します。コロナ感染予防対策を十分に行いながら、ボッチャやゲームなどを通し、交流を深めます。

【日時】令和４年11月17日(木) 10:00～12:00
【会場】三和荘（福知山市三和町寺尾8004番地の丙）
【対象】三和地域の障害のある方（福知山市身体障害者団体連合会会員）
【内容】ボッチャやゲームなどで交流し、親睦を深めていただく。

＊福知山市身体障害者団体連合会 三和支部との共催事業

【お問い合わせ】三和支所
TEL 0773-58-3713　FAX 0773-58-3732

大江はつらつ会［見守り訪問事業］ 要申込

～大江地域の75歳以上でおひとり暮らしの方へ～

今年も大江地域で「はつらつ会」を実施します。民生児童委員や地域ボランティア等の皆さんと一緒に心身状況等の確認も兼ねてご自宅を訪問し、お弁当等をお届けします。

【日時】令和４年12月10日(土) 10:30～12:00
【対象】大江地域の75歳以上のおひとり暮らしの方
【内容】民生児童委員や地域ボランティア等と一緒に見守りや心身状況等の確認を兼ねてお弁当等をご自宅へお届けします。

【お問い合わせ】大江支所
TEL 0773-56-0224　FAX 0773-56-1654

コロナ禍と物価高騰を地域で支える見守りプロジェクト

食の応援でつながろう　ひと ちいき みらい

本会では、地域のたすけあいの輪を広げるための一環として、市民の皆さんに食品や日用品の提供を呼びかけ、集まった食品や日用品を、生活に不安を感じる方などにお渡しする取組みを行います。皆さまのご協力をお願いいたします。

食品・日用品を募集します（個人・団体）

寄付いただきたいもの　いずれも新品未開封でお願いしております。

食　品：賞味期限が２か月以上残っており、**新品未開封**で常温保存が可能なもの。
【例】● 缶詰・インスタント食品・レトルト食品・調味料・飲料・白米（令和３年以降に収穫され適切な保管状態にあったもの）など　※生鮮食品は受付しません。

日用品：**新品未開封の品**　【例】サージカルマスク（使い捨て不織布マスク）、タオル、鍋などの調理器具、子ども用紙オムツ等

お預かり方法　令和4年11月8日(火)～25日(金)の平日9～17時に、社協本所・各支所窓口にてお預かりさせていただきます。

集まった食品等は、このように活用します

- 本プロジェクトに賛同いただける団体による見守り活動等に活用します
- 必要な方に社協から直接お渡しします

活動団体を募集します

対象団体　本プロジェクトを活用し、地域の皆さんに対する見守り活動を実施される非営利団体。

申請締切　令和４年11月18日(金) 締切

※詳細は社協ホームページをご覧ください。
※食品アレルギーの有無等については お受取の方と活動団体の間でご確認の上、お渡しいただきます。

寄せられた食品・日用品の仕分け等のボランティアも募集します。詳しくは下記へご連絡ください。

「食の応援パック」お渡し会を開催します 要申込

生活にさまざまな不安を感じている方に、寄付された食品等を詰め合わせた「食の応援パック」（無料）をお渡しします。

と　き　12月18日(日)　10:00～16:30
ところ　福知山市字内記10-18　福知山市総合福祉会館
申　込　11月28日(月)～ 12月9日(金)までの平日9～17時に電話、FAX、Eメール、直接来所にて申し込んでください。連絡先（電話またはメール）と住所、氏名、人数、受取希望時間をお知らせください。

※応援パックは先着200名分までとします。
※感染症予防のため、お渡しできる時間帯を指定します。
※食品のアレルギー対応はしておりません。

【お問い合わせ】地域福祉課　TEL 0773-25-3211　FAX 0773-24-5282　Eメール：fuku-shakyo@coral.broba.cc

赤い羽根共同募金 が10月1日から始まりました

街頭募金の様子（令和４年）

- お住まいの自治会を通じて
- 学校や職場等を通じて
- 市内各所設置の募金箱を通じて
- 街頭やイベントでの募金活動を通じて
- 福知山の企業や団体、個人の方々から

募金にご協力いただいています。
どうもありがとうございます。

こんな募金の方法もあります!!

グッズ募金

（社協窓口または街頭・イベント募金限定）

①

- **2022年限定バッジ**（①）
  1,000円以上の募金にて１個進呈
- **500円分のクオカード**（②）
  1,000円以上の募金にて１枚進呈
- **クリアファイル**
  各種300円以上の募金にて１枚進呈
  ・僕のヒーローアカデミア（③）
  ・バンドリ! ガールズバンド パーティー！（④）

②

③ ④

他の種類もあります。お問い合わせください。

※数には限りがありますので、なくなり次第終了となります。
※転売、ヤフオク・メルカリ等への出品は厳禁です。

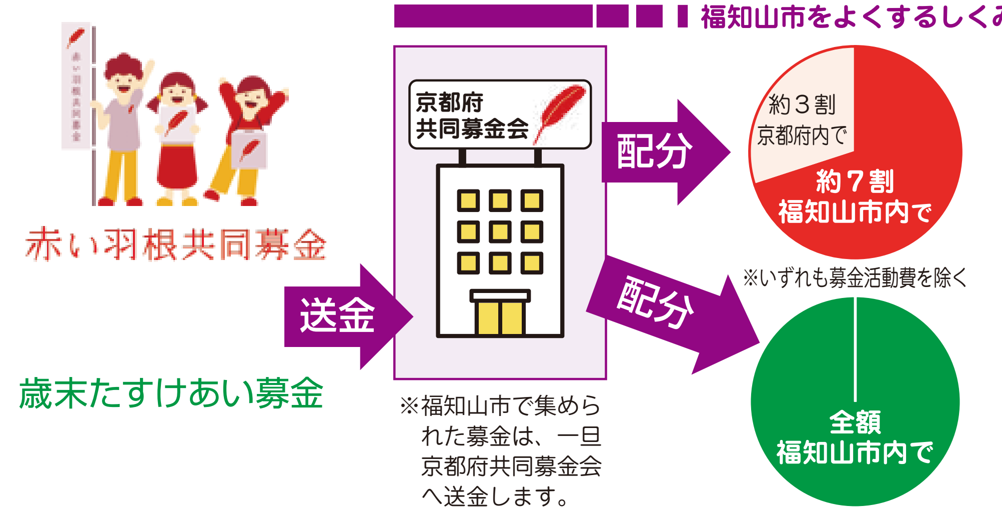
©堀越耕平／集英社・僕のヒーローアカデミア製作委員会　©BDP ©CraftEgg ©BUSHI

オンライン募金はこちらから→

スマホからも、募金できます♪

募金先に福知山市を指定し、募金したい分野を選ぶこともできます。

共同募金のしくみとつかいみち



※福知山市で集められた募金は、一旦京都府共同募金会へ送金します。

赤い羽根
約７割は福知山市内に配分され市内の地域福祉活動のために使われ、約３割は京都府下の広域の福祉や災害支援等のために使われます。

歳末
募金活動費を除く全額が福知山市内に配分され、年末年始や今すぐに必要な地域福祉活動を支えるために使われます。

共同募金を活用したい！　共同募金を活用して地域の福祉活動に取り組まれたい方は、こちらのホームページをご覧ください。

共同募金のつかいみちは？　「はねっと」のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】福知山市共同募金委員会（事務局：社協）　TEL 0773-25-3211　FAX 0773-24-5282